

団体名 イトーヨーカドー東久留米店

代表名 野村 昭史

電話 042-474-3311

【主な活動内容・紹介】「持続可能な環境のための活動」

プラスチック対策

プラスチックは石油が原料で、海や土では分解できずに自然に残り続けてしまいます。この問題を解決するため第一歩として全国でレジ袋有料化がスタート。さらに、ペットボトルをリサイクルして別の商品へと生まれ変わらせて、循環させる取り組みも積極的に進めています。



ペットボトルがBODY COOLER®に生まれ変わるまで



ペットボトルを回収・買取

ペットボトルの回収に協力していただくと、ペットボトル5本で1nanacoポイントに交換できるリサイクルポイントがプラス。また、圧縮力の強い自動回収機を採用することで、ペットボトル運搬用自動車の台数を減らし、CO₂削減にもつなげています。



使用量目標

プラスチック製レジ袋
使用量目標

オリジナル商品で使用する容器は環境配慮型素材^{※1}に^{※2}

2030年までに 2050年までに

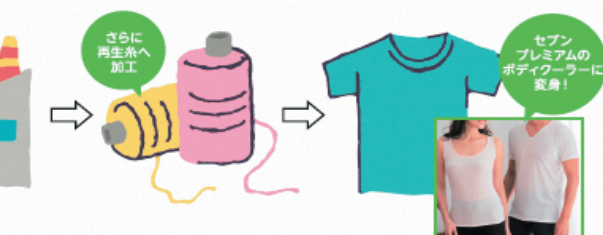
0% 50% 100%

※1: 使用するレジ袋の素材は、紙等の持続可能な天然素材にすることを目標とする。
※2: バイオマス・生分解性・リサイクル素材・紙、等。
※3: オリジナル商品(セブンプレミアムを含む)で使用する容器の目標



私のお買物がこ

繰り返し使えて、レジ袋も削減。環境とお財布にやさしく、商品をそのまま持ち帰れるのでとってもスピーディー!



ペットボトルが衣類に!

使用済みペットボトルをリサイクルして生まれたリサイクルPET樹脂は、シャンプーなどの詰替え容器や、セブンプレミアムシリーズをはじめ、「一(はじめ) 緑茶」のペットボトル、機能性肌着「ボディクーラー」等の原料の一部に使用しています。これは、お客様がペットボトルをキレイに洗って回収ボックスに入れてくださるからこそ実現できています。今後もお客様とともに、循環型社会をつくっていきます。

100%リサイクルボトルを使用したセブンプレミアムの「緑茶」

店頭で回収されたペットボトルを100%使用したリサイクルペットボトルを使用。同じ流通グループ内で回収したペットボトルを再び商品として販売するのは世界初です。

※2019年6月5日現在、日本コカ・コーラ(株)およびセブン＆アイHLDGS.調べ。

食品ロス・食品リサイクル対策

イトーヨーカドーは、生鮮食品を扱う企業として、まだ食べられる食品の廃棄量削減はもちろん、どうしても出てしまう食品残さの有効活用についても取り組んでいます。

食品残さをセブンファームで有効活用



全国に12カ所あるセブンファームは、店舗から排出される食品残さを加工した堆肥を使用し、農作物を栽培する「環境循環型農業」を行っています。

フードドライブ活動への協力



フードドライブとは、家庭で発生するまだ食べられるのに捨てられる食品を、食の支援を必要とする方々に非営利団体を通じて適切に無償で提供する活動で、家庭の食品ロス削減にも役立ちます。イトーヨーカドーでは一部店舗で常設で持ち出す商品を回収しフードバンク団体に寄付、子ども食堂や支援を必要としている方にお届けしています。

※2020年9月調査 18店舗で実施

削減目標

2030年までに

50%削減

2050年までに

75%削減

※いずれも食品廃棄物量(売上百万円当たりの総重量)(2015年度比)

リサイクル目標

2030年までに

70%

2050年までに

100%

※いずれも食品廃棄物のリサイクル率

持続可能な調達

お客様への安全・安心な商品のご提供と、持続可能な社会を目指して、人権や自然の持続的な利用を考えた食品原料を増やしています。



顔が見える食品。ホームページ

目標

2030年までに

50%削減

2050年までに

100%削減

※オリジナル商品(セブンプレミアムを含む)で使用する食品原料の目標



「顔が見える食品。」とは

一人ひとりの生産者の方のお名前と顔を記載して食品をお届けする。イトーヨーカドーオリジナルの食品ブランドです。日本の農・畜・水産物に限定し、より良い環境や安全・安心とおいしさにこだわる生産者を訪ねて、パートナーシップを築いています。主に、JGAPや水産エコラベル(MEL)認証などを受けた生産者の協力のもとつくられています。

JGAP JGAPとは

農業における食品安全、環境保全、労働安全などの確保のための、生産工程管理の取組を促すことをいいます。

MEL認証とは

水産資源や生態系など環境にやさしい方法で行われている漁業や養殖業を認証する仕組みのこと。